

1 入館者が16,886名に。語り部講話の聴講者は1,000名を越える！

4月29日の開館以降、連日、県内外からたくさんの方々が資料館を訪れています。開館からちょうど3ヶ月たった7月29日までの入館者数は、16,886名。そのうち団体（10名以上）での利用は、96団体、2,524名となっています。

団体利用の皆さんには、特に語り部講話の人気が高く、これまで1,000名を超える方々が聴講されています。7月には、なんと20回の講話を実施。この1ヶ月で4回も講話された語り部の方がいらっしゃいました。

聴講された方からは、「文字や映像ではなく、実体験された人の話は重みがある」、「裁判で勝訴するまでの苦労は、経験された方でないとわからない」、「多くの苦しみを感じ、涙が出てなりません」などの感想が寄せられており、改めて「生の声を持つ力」というものを実感しています。

今後は、語り部の方々によるリレー形式の講話や意見交換を行う、「イタイイタイ病伝承会（仮称）」なども企画したいと思っています。



2 無料送迎バスが出る「課外学習サポート事業」で多くの子どもたちが学習

資料館では、次世代を担うより多くの小中高生に、イタイイタイ病の恐ろしさやその克服の歴史を学んでもらうため、「課外学習サポート事業」を実施しています。

これは、環境省からの委託を受けた事業で、学校等に無料送迎バスを提供し、多くの子どもたちに来館してもらい、イタイイタイ病に関する意識や学習成果などを調査するものです。

7月末までに、8校、349名がこの事業を活用して資料館を訪れ、学習しています。7月12日も、滑川市立北加積小学校の5年生29名が来館。解説を聞きながら、展示室でイタイイタイ病についての理解を深めた後、語り部講話を真剣なまなざしで聴き入っていました。

この事業の対象は、小中学校・高校の課外授業で、受入れは、原則1日1校。予算の範囲内で、先着順にて学校を決定します。修学旅行で富山県を訪れる県外の学校も対象となり、県内の空港や駅から無料送迎バスが利用できます。申込方法については、資料館のホームページ（URL <http://itaitai-dis.jp>）をご覧ください。

